

吉田兄弟

三味線だけの世界

2019年にデビュー20周年を迎えた津軽三味線の第一人者、吉田兄弟。世界に通用する津軽三味線アーティストとして、日本伝統芸能の枠を超え、幅広い活躍をみせる二人が、津軽三味線の世界に新たな境地を切り開く！北海道出身。

2019年、デビュー20周年を迎えた、津軽三味線の第一人者、吉田兄弟。北海道登別市出身。ともに5歳より三味線を習い始め、1990年より津軽三味線奏者初代佐々木孝に師事。津軽三味線の全国大会で頭角を現し、1999年アルバム「いぶき」でメジャーデビュー。邦楽界では異例のヒットを記録し、現在まで15枚のアルバム他を発表。2003年の全米デビュー以降、世界各国での演奏活動や、国内外問わず様々なアーティストとのコラボレーションも積極的に行っている。2015年には「連載完結記念NARUTO-ナルト-展」とコラボした楽曲「PRANA」がリリースされ大きな話題となった。また、良一郎は代表的な和楽器による学校公演を中心とした新・純邦楽ユニット「WASABI」を始動させ、健一は平成27年度文化庁文化交流使としてスペイン・バルセロナに滞在し活動したことをきっかけに、現在もバルセロナ高等音楽院で津軽三味線講義を毎年行っている。2017年は映画「KUBO/クボ 二本の弦の秘密」日本語吹替え版主題歌として「While My Guitar Gently Weeps」で参加。また、2000万回再生を誇るレッドブル・アスリート、ジェイソン・ポールによるバルクール映像のBGM「Cool Spiral」を提供、配信。2019年、「東京2020オリンピック1年前セレモニー “1 Year to Go!”」ではオープニングパフォーマンスを務めた。2020年7月から放送の「GIBIATE(ジビエート)」プロジェクトのアニメオープニングテーマ曲「GIBIATE」を、LUNA SEAやX JAPANのギタリストとして活躍するSUGIZO氏と共同制作し発表。デビュー20周年記念アルバム「THE YOSHIDA BROTHERS」を発売。2021年4月からアニメ「ましろのおと」で津軽三味線の監修を務め、エンディングテーマ曲「この夢が醒めるまで feat.吉田兄弟」も加藤ミリヤと共作、発表。世界に通用する唯一無二の津軽三味線アーティストとして、日本伝統芸能の枠を超え、幅広い活躍が期待されている。



演奏予定曲目

- ・津軽じょんがら節
- ・風翔音「Fusion」
- ・百花繚乱
- ・Panorama
- ・鼓動

※予定曲目は変更の可能性がございます。予めご了承ください。

第36回
倉敷音楽祭
KURASHIKI ONGAKUSAI
3/13 (日) 2022

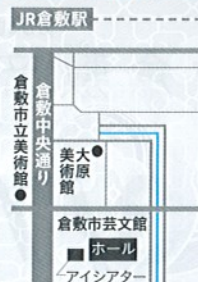
会場 倉敷市芸文館 ホール 時間 15:00開場 / 16:00開演

全席指定 一般 4,000円 大学生以下 1,000円

当日各500円増 ※就学前のお子様のご入場はご遠慮ください。
※前売で完売した場合は、当日券の販売はありません。

発売日 アルスクらしき会員先行 12月14日(火) 一般発売 12月16日(木)

主催：倉敷市、倉敷市文化振興財団 共催：倉敷市教育委員会 協賛：JFE21世紀財団 後援：文化庁、岡山県、岡山県教育委員会



お客様への
お願い

新型コロナウイルス感染拡大防止のため
ご理解とご協力をお願い申し上げます。

①発熱・咳などの症状のある方、体調に不安のある方はご来場をお控えください。②会場内ではマスクを着用し、できるだけ会話は控えください。③入場口・お手洗いなどでお並びの際、一定間隔の確保をお願いします。④こまめな手洗いや手指消毒・検温などにご協力をお願いします。⑤会場内でのご飲食はご遠慮ください。(水分補給は除く)⑥社会情勢の変化により公演内容変更や延期・中止となる場合がございますのでご了承ください。

ご予約・お問合せ

アルスクらしきチケットセンター
営業時間9:00~17:00 土・日・祝日は休み

TEL.086-434-0010

インターネット予約
倉敷音楽祭2022サイト

<https://arsk.jp/m-fes>

チケット取り扱い
プレイガイド

- 倉敷市芸文館
- チケットぴあ(Pコード:207-341) <https://t.pia.jp>
- ローソンチケット(Lコード:64446) <https://l-tike.com>

チケットぴあ、ローソン
チケットはWeb販売のみ(店舗・電話では
受付できません。)

最新情報は、ホームページ / facebookでも配信しています

<https://arsk.jp/m-fes> <https://www.facebook.com/arsk.jp>

